

公益社団法人 日本精神神経科診療所協会

どんとこい！認知症 XVII

「認知症の“前”から地域生活まで — 精神科診療所だからできること」

日 時：令和 8 年 11 月 1 日（日）13 時～15 時 50 分

会 場：AP 新橋 D ルーム（〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 4F）

参加費：無料（100 名先着順）

プログラム

13：00～13：05 開会挨拶 上田容子（(公社)日本精神神経科診療所協会副会長）

第一部（60 分）

13：05～14：05 特別講演「精神症状から認知症を捉える

—MBI が拓く早期診断の新たな視点」

座長：内門大丈（(公社)日精診理事・事務局長／メモリーケアクリニック湘南）

講師：笠貫浩史 氏（聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室 教授）

14：05～14：15 休憩（10 分）

第二部（15 分×2 名、30 分×1 名）

14：15～15：15 シンポジウム

「これからの認知症診療をどう支えるか

—早期発見から BPSD、デイケア、地域生活まで」

座長：李 利彦（(公社)日精診常任理事／李クリニック）

シンポジスト：

「臨床現場での MBI の対応」（15 分）

芦刈伊世子 氏（あしかりクリニック）

「早期診断のその先へ — 認知症の診断後支援」（15 分）

村上智子 氏（ふないり脳クリニック）

「認知症デイケアの現在とこれから・BPSD を外来・地域でどう支えるか」（30 分）

高橋幸男 氏（エスポアール出雲クリニック）

15：15～15：45 総合討論（30 分）

「認知症の“前”から地域生活まで、精神科診療所に何ができるか」

笠貫浩史氏、芦刈伊世子氏、村上智子氏、高橋幸男氏

15：45～15：50 閉会挨拶 宋 仁浩（(公社)日精診 認知症等高齢化対策委員会委員）